

会 議 録

会 議 名 称	平成 28 年度 登米市総合計画審議会
開 催 日 時	平成 28 年 7 月 27 日 (水) 午後 2 時 00 分開会 午後 4 時 15 分閉会
開 催 場 所	登米市役所迫庁舎 2 階 大会議室
議長 (会長) の氏名	公立学校法人宮城大学 教授 徳永幸之
出席者 (委員) の氏名	<p>公立大学法人宮城大学 教授 徳永幸之【会長】 登米市景観形成会議 前会長 西條多美子【副会長】 登米市子ども・子育て会議 副会長 鹿野良子 登米市都市計画審議会 会長 遊佐正克 登米市男女共同参画審議会 元委員 尾形重雄 宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所 所長 山本雅伸 登米市中学校長会 及川長五郎 特定非営利活動法人登米市体育協会 佐々木猛 登米市文化協会 理事長 鈴木敬一 一般社団法人登米市医師会 副会長 松本宏 社会福祉法人登米市社会福祉協議会 事務局長 佐々木栄一 登米市食生活改善推進員協議会 副会長 千葉みどり 一般社団法人登米市観光物産協会 会長 阿部泰彦 登米市コミュニティ推進連絡協議会 会長 千葉久男 公益社団法人 とめ青年会議所 齋藤力</p> <p style="text-align: right;">以上 15 人</p>
欠席者 (委員) の氏名	<p>登米市民生委員児童委員協議会 理事 關嘉基 登米地域商工会連絡協議会 幹事 今野秀俊 宮城北部流域森林・林業活性化センター登米支部 支部長 佐藤芳男 みやぎ登米農業協同組合 常務理事 須藤正美 登米市環境市民会議 会員 菅原亜希子</p> <p style="text-align: right;">以上 5 人</p>
事務局職員職氏名	<p>【事務局】 企画部 部長 秋山茂幸 企画部 次長 加藤勤 企画部企画政策課 課長 小野寺仁 企画部企画政策課 課長補佐 (総合調整) 新田公和 企画部企画政策課 課長補佐兼係長 日野幸紀 企画部企画政策課 企画政策係 主査 佐々木洋忠 企画部企画政策課 企画政策係 主査 佐藤旭信</p>

議 題	<p>【協議事項】</p> <p>① 登米市総合計画の基本計画等に掲げる主な成果指標に対する実施状況について</p> <p>② 登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる主な評価指標に対する検証について</p>
会 議 結 果	別添のとおり
会 議 経 過	別添のとおり

会議資料	<p>【資料1】第二次登米市総合計画 平成27年度実施状況総括表</p> <p>【資料2】登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成27年度実施事業総括表</p>
発言者	発言要旨
【1 開会】	
事務局	<p>ただいまから、登米市総合計画審議会を開催します。新たに委員に就任いただく5名のうち1名が欠席されているので、4名の方に委嘱状を交付させていただきます。その後、協議事項2件について審議いただきます。</p> <p>12番關嘉基委員、15番今野秀俊委員、16番佐藤芳男委員、17番須藤正美委員、18番菅原亜希子委員から欠席の連絡を受けています。</p> <p>それでは、布施市長より委嘱状の交付をさせていただきます。</p>
【2 委嘱状の交付】	
	市長より4名に委嘱状を交付。
【3 挨拶】	
布施市長	<p>昨年の9月には「第二次登米市総合計画」、10月には「登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画策定に当たり、委員の皆様にご審議いただいたことに感謝します。</p> <p>本日は、「第二次登米市総合計画基本計画」について、計画期間を平成28年度から10年間としていることから、平成28年度からの取組結果との比較をより具体化するため、平成27年度の実施状況について検証していただくものです。</p> <p>また、「登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略」については、平成27年度からの5年間の計画期間となり、1年目に当たる平成27年度の実施状況について、各基本目標における実績値と重要業績評価指標（KPI）を比較し、その具体的な取組及び要因分析を行い検証していただくものです。</p> <p>多岐にわたる議論をいただき、実りある会議と座標軸を定めていただくことをお願い申し上げ挨拶とします。</p>
(市長退席)	
【4 議題】	
会長	<p>現在の出席が15名で、委員の半数以上が出席しているので会議は成立する。会議録の署名人の指定については、9番鈴木敬一委員、10番松本宏委員にお願いする。</p> <p>【協議事項】</p> <p>協議事項①の「登米市総合計画の基本計画等に掲げる主な成果指標に対する実施状況について」事務局より説明を求める。</p>
事務局	(配布資料1に基づき、説明)
会長	NO.44 サンクチュアリセンターの入場者数について、休館している日数を考えると逆に入場者数は増えているのではないかと。増やすための方策としてリニューアル工事を実施し、3月14日までかかっている。効果が発揮される前

	の話なので、評価対象外としても良いのではないか。
委員	他の会議において、県や栗原市のサンクチュアリセンターとの連携が長年の課題と聞いている。環境省の予算がつき込まれ、様々な事業を即時実行している。最近、公益財団法人宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団との連携が取れてきていると聞いたが、どうなのか。
事務局	事務局で、県や栗原市のサンクチュアリセンター、公益財団法人宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団の具体的な取組の詳細を把握していないため、説明できないが、今後の取組として、目標を進めていくために連携を強化していくとしている。
委員	栗原市では、ジオパークなどに力を入れている。登米市ではあまり環境教育に触れていないので、興味を持たせる環境教育を取り入れてはどうかと思う。登米市と県や栗原市のサンクチュアリセンターとの連携が課題と文言があったので意見した。
会長	課題として連携を強化していくことは重要な視点である。計画どおりリニューアルしているのであれば、「計画どおり」又は、「評価対象外」でも良いのではないか。
事務局	計画には、リニューアルも念頭に入れており、評価している。 特別な要因があった場合について、評価が適切かとの意見もあるので、今後の検討の際には念頭に置いて評価したい。
委員	環境教育を進めるのであれば、年代別の数値を把握する必要があるが、把握しているのか。
事務局	事務局では把握していない。重要だと思うので、把握しているかどうかも含めて検討するよう担当課に伝える。
委員	様々な地区では小・中学生の環境教育として、河川の生き物など自然に触れる授業を行っている。市としても小・中学校、あるいは幼稚園・保育所の施設に対してPRすることも良いと思う。入場者数が半分になったことについては事情があったと思うが、32年度の目標を到達するようにやっていただきたい。
委員	全体的に自己評価が厳しいと感じた。周辺自治体と比べるとすべての事業についてスピード感が遅いと感じている。特に協働のまちづくりなどは、市民が行政離れ、議会離れしているので、どの様に進めるのか考える必要がある。
委員	他の地区はすごく勢いがあり、仙台市のバスにも表示して観光PRをしっかりとしている。登米市は、伊豆沼を持っているのに認知度が低い。サンクチュアリセンターと聞くと栗原市のイメージになっている。少しPRに力を入れて活力がある町だと思えるようにしてはどうか。
委員	登米市のイメージアップをするためには、行政と一体になって進める必要がある。
会長	整理させていただくが、1つは、数値で評価しているので、どうしても初年度なので、低くなっている様な感じを受ける。判断基準が厳しいのかもしれない。5年・10年計画の中で今の進捗状況を判断すると、サンクチュアリセンターなどはまさにそれに向けて初年度整備した。これから成果が出てくる。数字

	<p>的には確かに達成されていないが、それで良いのか。</p> <p>具体的に「A」、「B」、「C」を判定する際に、何割達成すれば等の基準はあるのか。</p>
事務局	<p>数値では定めていない。目標値の実績値と取組内容を見て、総合的に評価している。初年度なので、少し厳しい評価になっていると感じている。</p>
会長	<p>内部評価としては、厳しめにしても良いかと思うが、外向けの評価としては、見直しを行うか、スタートラインに立つ前の段階なので、その扱い方について、事務局で整理していただきたい。</p> <p>公表のタイミングについてはどうなっているのか。</p>
事務局	<p>本日の審議会前に、部長・次長級で構成する内部の検討組織で検討している。審議会での意見を加味し、9月定期議会に報告させていただき、その後、市HPにて公表させていただく。</p>
会長	<p>一般市民にも公表される数値となる。現状では、半分くらい遅れている評価となっている。</p>
委員	<p>この数値目標は、人口を固定した数値だと思うので、人口が減っているのに、人口に対する%を出すと変わってくるのでは。例えば人口が1,000人減っているのに努力して同じであれば、「A」となるのではないか。</p>
事務局	<p>分母が減っていて、同数で維持できればプラスではないかとの意見ですが、昨年と比べて人口推移を出して、基礎データをつければなお良いのかと思うが、総合的な評価とさせていただきたい。</p>
委員	<p>2点確認したい。1点目は、重点戦略の健康寿命については、厚生労働省の数値のみで評価するのか。</p> <p>2点目は、32年、37年度の目標数値に人口推移は加味されているのか。また、自己評価を行う時の一定の判断基準として、基本原案を作成する必要があるのではないか。</p>
事務局	<p>1点目については、何点かの細部の目標を立てているが、大きな目標としては、健康寿命を県内平均以上にするとしている。国勢調査の数字を基にした厚生労働省の数値となるが、例えば、参考値として住民基本台帳などから推計値を出す方法はあると思う。</p> <p>2点目については、総合計画の目標値を設定する上で、人口推移は念頭に置いて検討し設定している。しかし、状況が変わって来るので、10年間の計画ではあるが、5年間で見直すことも可能としている。また、一定の基準については、数値目標に対しての評価が一番明確だと思うが、取組を行ったが結果に結びつかない場合もある。今回は、基本は数値目標とし、それぞれの取組として次につながるような評価を行った。自己評価については、その内容について来年度に向けて検討させていただく。</p>
会長	<p>総合計画の将来人口は、目標値を72,000人として掲げている。これを前提に指標を設定している。指標によっては、そんなに増やしていない指標もある。数値として伸びていない、あるいは減っているが、人口の減り具合に比べれば健闘しているものもあると思うので、再確認いただきたい。</p>

	この数字は、総合戦略の人口と同じ人口か。
事務局	総合計画は10年間を目標としているが、総合戦略は5年間となる。ただし、いずれも72,000人を念頭に置いたつくりとなっている。
会長	自己評価については、明確な基準が無いとのことなので、しっかりチェックする必要がある。 本来の目的に対して、この指標で図れるのかと思うものもある。「A」、「B」、「C」は数値目標に対しての自己評価かもしれないが、総合計画の本来の目的が、いかに達成できているのかチェックする必要がある。数値に現れないところでも意見をいただきたい。
委員	数値目標は、数値が高ければ住民の満足度が高いとみられるが、内容によっては、数値とは別に住民の満足度が低いという場合もありえる。モノを図る数値も必要だが、住民の意思が反映されたものでなければならない。行政のための数値ではない。 サンクチュアリセンターについては、民間の発想が必要である。アミューズメント化、娯楽性を持つような民間の発想も持つべきである。 商業・観光についても、浮動客、目的客とあるが、今の時代は目的客がほとんどで、ロードサイドを流れてふらっと入るような時代ではない。宣伝、ITの活用が必要である。
委員	今までの10年とこれからの10年は、まるっきり違う。数値のみを追いかけて良いのか。プロセスをどのように考えるのが重要である。 登米市は、周辺自治体に比べ安定している。周囲の自治体は危機感を持って事業を展開している。登米市は安定しているように見えるが、市民は不満を持っている。
委員	総合計画は10か年計画なので、専門の職員が1～2人居ても良い。それこそが本当の市民のことを考えた総合計画ではないか。10年や退職までとは言わないが、専門的な職員を置く必要がある。各部署との連携が必要となるので、総括する担当を配置する必要があるのではないか。
委員	市に、総合企画を担当するセクションが無いとダメではないか。
委員	登米市は中途半端で、へき地に行くと活性化させるために、住民・職員が一生懸命アイデアを出している。中途半端を抜け出すためには、どの様なアイデアが必要か考える必要がある。
会長	本来であれば、市長にも同席していただければ良かったが、機会を捉えて市長に伝えたい。
委員	行政評価については、県では指標は数字に過ぎない。評価は政策の中身を評価する。今回の自己評価については、数字を踏まえた政策の自己評価だと思うNO.47、49について、「C」、「D」の違いがわからない。市民にわかりやすく評価する必要があるのではないか。県では住民満足度調査を行って、毎年度以降の政策展開に活かしている。 市民の満足調査を行う考えはあるのか。
事務局	第一次の総合計画については、3年に1回程度住民満足度調査を行ってい

	る。本年も実施し、取りまとめている最中である。
委員	「D」とかは「大幅な遅れ」だと大変なことと思われる。評価の定義付け、外に出す際の評価の説明をわかりやすくした方が良いのではないか。
事務局	委員お話のとおり「C」、「D」の違いは一般的には難しいのかもしれない。来年度から現状を市の職員が把握して目標に向けて進むために、自己評価にした反面、分かりづらいものとなってしまった。今後の市民への公表等について、わかりやすい方法を検討させていただきたい。なお、最終的には市民の皆さんに満足していただけるよう意識を持ちながら取り組み、評価に表せるように努力したい。
会長	まとめさせていただく。 「C」、「D」の違いもそうだが、「A」、「B」の違いも分かりづらい。 評価基準については、再度整理していただきたい。総合計画については、計画期間外なので予備評価となるため、あくまでも参考として公表いただいた方がよい。時間もないので、会長・副会長に一任していただき、事務局で評価の付け方について、再考願いたい。 数値だけではないとの話があるので、関係する分野でお気づきの点があれば、特に今後どのような取組を行うかについて事務局にお話ししていただきたい。評価にすぐ反映できないと思うが、担当課に伝え、今後注意して取り組んでいただけたらと思う。
委員	前に話しているが、この数値が独り歩きすると大変残念である。NO. 8の要因について記載されている内容が、公民館だけのデータである。体育協会でも同様の生涯学習をたくさん実施している。公民館以外のデータが出ていない。市民に提示するのであれば、誤解されてしまうので、「公民館だけに限った数値」と記載して表に出す必要がある。 他にも健康の問題は、教育部、市民生活部もリンクする。連携する部分がデータとして抜け落ちている。 総合戦略のNO. 20についても同様で、ここに記載されていない事業もいっぱいある。これだけのデータではないことを市民にはっきりわかってもらいたい。
事務局	数値目標を掲げる際に、担当課では把握している。しかし、表現などで横の連携ができていなかった部分もあるかもしれないので、誤解を招く表現については、整理していきたい。
委員	前にも話しているが、スポーツ体育団体は、スポーツ少年団や総合型スポーツクラブだけではない。体育協会が各町域に競技協会を沢山持っている。そこが全て抜け落ちている。100年以上前から日本体育協会の下部組織として様々な競技を行ってきている。スポーツ少年団員が3人増えたとかそういう問題でない。具体的には、交流人口についても、中田アリーナの合宿棟はすごく利用されている。そのようなデータは無いのか。抜け落ちていることを意識して市民に出して欲しい。市民向け・市外向けに整理して出すべきと考える。
会長	数値は独り歩きして、誤解されることがあるので、扱いについては十分注意

	して誤解の無いように扱っていただきたい。特に公表については、見る人のことを意識して公表の仕方を事務局で検討していただきたい。
委員	評価は「A」、B)、C)ではなく、5点満点ではどうか。
委員	これは、自己評価なので、対外的に見せるものなのか疑問である。職員が仕事の結果として評価したもので市民の満足度ではないので、出されてもどうなのか。
委員	この評価は、指標の評価ではなくて、政策の評価であるので、説明の仕方を考える必要がある。県では言葉で「やや遅れている」などとしている。
事務局	<p>今回のK P Iの考え方は、行政評価ではなく、総合計画に掲げた目標に対する実績値の途中経過である。本来は自己評価が無くても良いのかと思う。</p> <p>行政評価については、登米市も外部評価を含めすべての事業において行っている。</p> <p>総合計画で掲げた数値については、昨年度、この種類のこの数値として設定させていただいている。今、立ち戻って動かすことや、新しい評価を入れることは総合計画全体の見直しまで波及するので、現時点ではこの評価でスタートさせていただきたい。ただ、数値の詳しい説明は必要だったと思うので、検討させていただきたい。</p> <p>評価については、政策の評価との考え方もあるが、目的に直接結び合わない部分もあり、考え方としては、目標値に対しての実績値の途中経過となるので、自己評価そのものを削っても良いのかもかもしれない。今回は、市職員が振り返って今やっている位置を確認する意味で項目を付けて提出させていただいた。</p>
委員	「A」、「B)ではなく、達成率で%表示が良いのでは。
事務局	議長からのお話しの通りであるが、実質スタートしていないものである。協議の中で多くのご意見をいただいているが、市内・市外への見せ方もあるので様式も含めて、会長・副会長と協議させていただき整理させていただく。
会長	今回は進行管理として整理させていただいている。自己評価は重要な作業であるが、公表となると問題があるかもしれない。公表に向けて事務局と相談させていただき検討させてもらおう。
会長	それでは、協議事項②の「登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる主な評価指標に対する検証について」事務局より説明を求める。
事務局	(配布資料2に基づき、説明)
委員	先ほども話したが、NO.20について体育協会分が含まれていないので、誤解の無いようにしていただきたい。記載されている5大会以外にも柔道の飛翔杯、剣道、卓球などの県大会、東北大会を行っている。「5大会に限った大会参加者数」などと記載して誤解されないようにすること。
会長	事務局はその点をよろしく願います。
委員	要望になるが、NO.41市民バス乗客数だが、自宅前を市民バスが通過するが気付かない。本当に乗客数を増やしたいのなら、バスを派手にして誰にでもわかるようなアピールができないのか。市民がいつでも使えるようにするには、目に焼き付くような色合いが良い。

	<p>子供の環境、公園の環境について、こどもの遊び場が必要である。例えば石越の公民館前のグラウンドに総合的に遊べる大きい海賊船があるが、そのような遊べる場所など拠点を作ることによって、子供の遊び場があるから、安心して子供を産める。そのような発想も必要ではないか。</p>
会長	<p>全体的に、広報・PRについて、民間の感覚を取り入れてはどうかのお話だと思うが、担当課に伝えていただきたい。</p>
事務局	<p>先ほどのお話だが、市民バスでは無く住民バスだと思う。市民バスは、全てミヤコーバスに民間委託しており、全て赤白のカラーに統一されている。住民バスについては、朝・夕を除いた時間にスクールバス等を利用している。民間委託なので、なかなか統一したカラーリングは難しい。将来的には、市が所有する研修バス、スクールバスも民間委託を検討している。統一のカラーリングは難しいが、表示については検討していきたい。</p>
会長	<p>最後になるが、本計画の最終目標は5年後で、既に始まっている計画である。そこに向けて着実に進んでいくための評価となる。</p>
【5 その他】	
委員	<p>2点あるが1点目は、字が小さすぎる。 2点目は、社会的な問題だが、ポケモン GO についてだが、先日中学生が自宅前の田んぼでスマホを持って立っていた。町中あふれるので心配している。</p>
事務局	<p>ダウンロード可能となったが、歩きスマホや立ち入り禁止区域、用水路・排水路などの危ない区域もあるので、教育委員会を通じて啓蒙をする必要があると思うので、連携を取りながら対応したい。</p>
委員	<p>学校だけでなく、家庭・地域と連携した方が良い。</p>
会長	<p>ポケモン GO については、様々な問題もあるが、その一方で、それをどう地域活性化に結び付けるかとの話もある。注意深く情報収集しつつ、対応いただきたい。</p>
事務局	<p>資料1・2ともに様々なご意見をいただいた。様式的なことや見せ方等も含めて、いただいたご意見をもとに会長・副会長と相談させていただき、整理した上で対応したいと思う。 その他、ご意見がありましたら、担当部署との調整を図りたいと思うので、早めに連絡をいただきたい。</p>
会長	<p>以上で登米市総合計画審議会の議事を閉めさせていただく。</p>
【6 閉会】	
副会長	<p>長時間に渡り、慎重な審議をいただきました。昨年8月以来の審議会となりましたが、忌憚のないご意見をいただいたことは大変貴重と考えます。これらの計画は、これからの登米市の指針となるものですので、より良いものにしていきたいと考えます。 以上をもちまして、登米市総合計画審議会を終了します。</p>